

平成 26 年 5 月 15 日  
市総合計画審議会報告資料  
経営企画部 本庁舎建設室

## 市役所本庁舎の整備方針について

### 1 本庁舎整備場所

市民懇話会からの提言をもとに、遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果及び市民説明会での意見を踏まえ、市政策会議で検討した結果、本庁舎の整備場所を遠野市中心市街地活性化センター（通称：とぴあ）及びその南側の一角としました。

整備内容は、これまで通りとぴあ庁舎を活用するほか、南側の約 7,000 m<sup>2</sup>のエリアのうち約 3,000 m<sup>2</sup>の用地を取得し、2階渡り廊下で接続する増築方式とします。



### 2 選定理由

(1) 本庁舎整備場所はこれまで、①とぴあ周辺、②市役所本庁舎への復元、③穀町旧職員駐車場一の3つの案に絞り込んで検討してきましたが、次の理由によりとぴあ周辺に決定しました。

- ① 住民の利便性や中心市街地の賑わい創出の視点から、遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果と同様に最適地と判断した。
- ② 市民説明会において、遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果に対し、特に異論はなく、さらなる整備の充実を求める要望があった。
- ③ 既存とぴあ庁舎を活用することから、用地買収費等を加えても、他の2つの案と比較して整備費用が抑えられる。
- ④ 防災拠点として、商業施設との併設により災害の際の備蓄機能を既に有している。
- ⑤ 駐車場 340 台分を既に有している。
- ⑥ これまで取り組んできた中心市街地活性化基本計画等に連動した、中心市街地活性化の将来構想に結びつけることができる。

<b>検証結果</b>	とぴあを活用した周辺での整備が望ましい。
<b>理由</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の人口推計、縮小の時代に向けた準備として「コンパクトシティー」という概念に基づく機能集約が必要と考える。</li> <li>・中心市街地の賑わい創出、まちづくりという視点で考えた場合、駅前周辺での整備が期待される効果、メリットが大きい。</li> <li>・高齢者等の交通弱者への対応を考えた場合、公共交通機能が充実している遠野駅近隣での整備が適当である。</li> </ul>

(2) とぴあ周辺整備として、南側、西側、東側の3方向を検討してきましたが、その中から南側を選定した理由は次のとおりです。

- ① とぴあ庁舎との接続が最も容易で、庁舎としての一体的な場所が確保できる。
- ② とぴあの南側を整備することで、さらなる中心市街地の活性化が広がる。

### 3 集約する機能（組織）

遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果を基に、さらに検討する。

<b>検証結果</b>	<p>本庁舎に集約すべき機能は、できるだけ多くの機能を集約すべきと考える。（現在のとぴあ庁舎機能に、議会、産業振興部、農林畜産部、環境整備部を加える。）ただし、財政的な問題、用地取得の可能性等、さまざまな課題もあることから、段階的な整備・集約という方法でもよろしいのではないかと考える。</p>
-------------	---

### 4 これまでの経過

・平成24年 5月22日	・市内50人による「遠野スタイルによる庁舎機能のあり方を語る市民懇話会」を設置。平成25年 5月27日までに7回開催。
・平成25年 4月25日	・遠野市地域経営改革における検証指針を策定。 ・第二次遠野市進化まちづくり検証委員会を設置。
・平成25年 5月27日	<p>・「遠野スタイルによる庁舎機能のあり方を語る市民懇話会」から市に対し、庁舎機能のあり方に関する提言書が提出。</p> <p>①庁舎位置は中心市街地が望ましい。</p> <p>②庁舎機能は集約することが望ましいが、現在の利点と問題点等を総合的に検討し、さらに進化した庁舎機能の確保に努めること。</p>
・平成25年 5月30日	・第1回遠野市進化まちづくり検証委員会及び基調講演会を開催。
・平成25年 7月29日	・第1回政策会議を開催し、市民懇話会の提言を市の整備検討方針として決定。
・平成25年 8月22日	・第2回遠野市進化まちづくり検証委員会開催。本庁舎整備に係る市の検討方針（素案）を説明。
・平成25年11月 7日	・検証委員5人による本庁舎整備予定地の現地視察を実施。
・平成25年12月 1日	・経営企画部内に「本庁舎整備準備室」を設置。
・平成25年12月26日	・本庁舎整備準備室による第1回内部検討会議を開催。
・平成26年 2月 6日	・第4回遠野市進化まちづくり検証委員会開催。本庁舎整備に係る検証を行い、検証委員会から検証結果が示された。
・平成26年 2月18日	・市議会議員全員協議会で進化まちづくり検証委員会からの検証結果を報告。

・平成26年 3月 8日 ～ 9日	・遠野市役所本庁舎整備市民説明会を計4回開催。出席者70人。遠野市進化まちづくり検証委員会の検証結果に対し、特に異論なし。
・平成26年 3月13日	・本庁舎整備準備室による第2回内部検討会議を開催。
・平成26年 3月14日	・第15回政策会議を開催し、本庁舎整備予定地を決定。 ・市議会議員全員協議会において、本庁舎整備方針を協議。
・平成26年 3月21日 ～22日	・本庁舎整備に係る地権者説明会を開催。出席者28人。
・平成26年 3月26日 ～ 4月22日	・地権者等への訪問説明を実施（対象者35人）。
・平成26年 4月 1日	・「本庁舎整備準備室」を改め、「本庁舎建設室」を新たに設置。
・平成26年 4月11日	・第1回本庁舎建設室会議を開催。
・平成26年 4月21日	・市議会議員全員協議会において、遠野市一般会計補正予算（第1号）案（本庁舎整備に係る業務委託料等123,000千円）の概要を説明。 ・市議会臨時会において、上記補正予算成立。

## 5 今後の予定

5月	本庁舎整備計画案作成
5月～	用地測量業務委託 物件移転補償調査積算業務委託 不動産鑑定評価業務委託
7月～	設計業務委託
・平成27年 9月	建築工事着手
・平成29年 3月	建築工事完成

## [参考]

- ◇ 建物構造・規模（案）  
鉄筋コンクリート構造（木質化）3階建  
建築面積 2,000㎡  
延べ面積 4,600㎡+現在のとびあ庁舎面積 2,200㎡=計 6,800㎡
- ◇ 建設事業費（概算）  
・約23億円（建築工事費、用地取得費等）
- ◇ 財源内訳  
・震災復興特別交付税 11億円  
… 原形復旧分として国から支援される交付税（被災時の庁舎入居職員数 104人で算出）  
・被災施設復旧関連事業債 7億円  
… 原形復旧分を超える部分に充てることができる借入金（充当率100%、交付税措置率70%）  
・市単独費（基金等） 5億円  
… 市庁舎整備基金及び公共施設整備基金
- ◇ 本庁舎整備予定地（約 7,000㎡）の状況  
・地権者数 23人 ※ 共有資産は1人として計上  
・借家人 12人



# 遠野市中心市街地活性化の取り組み(2期目)

とおの      さいせいちく      いわてけんとおのし

## 遠野まちなか再生地区(2期)(岩手県遠野市) 整備方針概要図

平成26年度～平成30年度

目標	官民一体による中心市街地の賑わい創出とみんなが豊かに暮らすことのできるやさしいまちづくり	中心市街地の観光施設等の入込み数口(人/年)	98,454 (24年度)	→	100,000 (30年度)
	目標1: 中心市街地の賑わい創出による地域の活性化	代表的な指標	まちなか歩行者数 (人/日)	5,276 (24年度)	→ 6,000 (30年度)
	目標2: 高齢者や子育て世代でも快適に暮らすことのできる豊かな暮らしの創出	防災訓練・講習会の開催回数 (回/年)	1 (24年度)	→	3 (30年度)
	目標3: 地域防災機能を備えた災害に強い安全安心なまちづくり				

